

福井工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	電気磁気学Ⅰ		
科目基礎情報								
科目番号		0117		科目区分		専門 / 必修		
授業形態		講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科		電子情報工学科		対象学年		3		
開設期		後期		週時間数		2		
教科書/教材		電磁気学-初めて学ぶ人のために- 砂川重信 培風館						
担当教員		川上 由紀						
到達目標								
電場、磁場に代表される「場」の概念を理解することに始まり、電気磁気学Ⅰ、Ⅱを通して、最終的にはマクスウェル方程式の数学的、物理学的意味を理解する。電気磁気学Ⅰでの到達目標は「電場の概念理解」、「ガウスの法則の理解」、「静電ポテンシャルの理解」である。								
ルーブリック								
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
電場の概念理解		電場に関する問題を自ら作成し、その解答を解説することができる。		クーロンの法則を用いて電場の計算ができ、そのベクトル図を書くことができる。		電場が計算できない。		
ガウスの法則の理解		ガウスの法則に関する問題を自ら作成し、その解答を解説することができる。		ガウスの法則の式を導出でき、その式を用いて電場を計算することができる。		式を導出できない。		
静電ポテンシャルの理解		静電ポテンシャルに関する問題を自ら作成し、その解答を解説することができる。		静電ポテンシャルの計算ができる。		静電ポテンシャルが計算できない。		
学科の到達目標項目との関係								
学習・教育到達度目標 RB2								
教育方法等								
概要		電子物理現象を理解するため、その基礎となる電磁気学について学ぶ。本科目は4年次科目「電気磁気学Ⅱ」の基礎となる科目である。3年後期、4年通年の1年半を通して、電場、磁場に代表される「場」の概念を理解することに始まり、マクスウェル方程式の数学的、物理学的意味を理解してもらう。						
授業の進め方・方法		座学により「場」の概念や静電場における基本法則を解説する。理解度把握のため適宜演習を実施する。						
注意点		学習教育目標：本科（準学士課程）：RB2（◎） 関連科目：電気磁気学Ⅱ（4年） 学習教育目標の評価方法：2回の定期試験(最小80%)と課題レポート(最大20%)により評価し、60点以上を合格とする。 。合格点に満たない場合は課題の追加提出、および再試験を実施することもある。 学習教育目標の達成度評価基準：学年成績60点以上						
授業計画								
		週	授業内容		週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	シラバス説明 電磁気学の概要 ベクトル・スカラー内積・外積		電磁気学で使用するベクトル計算の計算方法を理解する			
		2週	クーロン力		クーロン力について理解し計算できる			
		3週	ガウスの法則の導出①		ガウスの法則の意味を理解する			
		4週	ガウスの法則の導出②		ガウスの法則を導出できる			
		5週	ガウスの法則の利用 導体		ガウスの法則を利用した電場の計算方法を理解する			
		6週	静電ポテンシャルの導出		静電ポテンシャルを理解する			
		7週	静電ポテンシャルの応用		静電ポテンシャルを計算できる			
		8週	中間確認		理解度確認			
	4thQ	9週	演習中間確認解説		理解度確認			
		10週	電気双極子		電気双極子が作る電場や静電ポテンシャルを計算できる			
		11週	コンデンサ①		コンデンサの電場・電気量・静電容量・静電エネルギーについて理解する			
		12週	コンデンサ②		コンデンサの電場・電気量・静電容量・静電エネルギーを計算できる			
		13週	コンデンサ③		様々なコンデンサの電場・電気量・静電容量・静電エネルギーを計算できる			
		14週	試験前演習		理解度確認			
		15週	期末試験		理解度確認			
		16週	期末試験返却・解説		理解度確認			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の専門工学	情報系分野	その他の学習内容	オームの法則、キルヒホッフの法則を利用し、直流回路の計算を行うことができる。		4		
評価割合								
		中間確認		期末試験		レポート課題		合計
総合評価割合		40		40		20		100
基礎的能力		40		40		20		100
専門的能力		0		0		0		0

分野横断的能力	0	0	0	0
---------	---	---	---	---